まきばでひとやすみ。

9月になった途端に、いきなり涼しくなってしまって、あれほど暑い暑い！もうイヤ～！と思っていた夏がヒューン！とあっという間に走り去ってった気がして、ちょっぴり淋しくなりました。そして数日前に自転車をこいでいる時、ふわっと漂ってきたキンモクセイの香りにハッとして「ああ、もうこの季節か！」と思ったのでした。私の季節感知レーダーでは、例年よりも数日早いかな、という感じです。大体、私の住む所（東京）では9/15～20あたりに「あ！キンモクセイの！」と気付き、どんどん香りが濃くなっていきます。これほどまでに香りで季節の移り変わりを感じさせてくれる花はなかなかないのではないでしょうか。春の始まりの桜や、梅雨に入る頃の紫陽花などは、彩りで季節を感じさせてくれます。こうして四季折々に芽吹き、花を咲かせ、彩りを楽しませてくれる草木や美しい花たち。自分たちの意志ではなく約365日のサイクルの命が組み込まれている不思議は考えれば考えるほどアメージング!!としか思えません。大昔の人たちが、1日の長さだとか暦を決めたりしたのも、きっと自然界の細かな変化を読み取っていったんだよなあ…等、あれこれ思いを巡らすと尽きません…。

人間にはこの小さな葉っぱ1枚ですら造ることはできないのだ、ということを考えるとただただひれ伏すような思いになるし、この自然界にある全ては神様の御業を現し、ほめたたえるためにある、という詩篇の言葉がしっくり来るのです。大自然を見て心が癒されたり安らぐことができるのも神様が人間に与えて下さった大きなプレゼントだなと思います。そして秋には美味しい実りがたくさん！そうやって、小さく罪深い存在にも関わらず、毎日毎日豊かなものを、美味しいものを、美しいものをもって祝福して下さる神様って何て素晴らしい方だろう！としみじみ感謝するのでした。

ロバ子